



平成 26 年 1 月 31 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 博 展
 (コード番号：2173 東証 J A S D A Q)
 本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 築 地 一 丁 目 13 番 14 号
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 田 口 徳 久
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 玉 井 昭
 電 話 番 号 0 3 (6 2 7 8) 0 0 1 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 2 日に公表した平成 26 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）通期業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,500	415	411	246	72 円 01 銭
今回修正予想 (B)	5,500	250	245	152	44 円 12 銭
増減額 (B - A)	—	△165	△166	△94	—
増減率 (%)	—	△39.8	△40.4	△38.2	—
(ご参考) 前期実績	4,922	375	377	218	64 円 23 銭

2. 差異および修正の理由

当社の主力事業であるイベント・展示会への出展及び主催サポートサービスにつきましては、日本経済の緩やかな回復基調を受け堅調に推移しております。また、新規事業として位置付けるコンファレンス&コンベンションサポートサービス、商環境サポートサービス並びにデジタルマーケティングサポートサービスにつきましても、それぞれの事業基盤を確立し新たな収益の柱としていくという事業戦略が順調に進捗していることもあり、旺盛な受注環境の下で通期売上高については当初計画通り達成できる見込みであります。

しかしながら、販促イベントの大型化に伴い、全国キャラバン等の地方案件が増加し、外注原価率が上昇していることや「点から線へ、線から面へ」という長期的な顧客サポート展開にシフトするための戦略的チャレンジ案件への取り組み等により、通期売上総利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

この結果、営業機能強化を目的とした本社リニューアル費用や各事業基盤構築のために必要な人材補強費、M&A 関連費用等、成長基盤整備のために投じた販売費及び一般管理費の増加分を吸収しきれない見込みとなったため、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、配当予想につきましては平成 25 年 5 月 2 日に公表の予想から変更はございません。

NEWS RELEASE

今回の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上